



いきいきまさきっこ 7月号

令和7年7月1日 松前町立認定こども園まさき幼稚園



～絵本と共に季節を楽しんで～

年中組の6月の月刊絵本は『あめのひの えんそうかい』という絵本でした。いろいろな物に雨粒を当てて音を出すことを楽しむ物語です。クラスで読み聞かせをすると、「ぼくもやってみたい!」という声があがり、雨が降る日をワクワクしながら待っていました。待ちに待った雨降りの日、早速子どもたちと試してみました。砂場道具からバケツや鍋、金属の皿などいろいろなものを持ってきて軒下に並べますが、雨が弱くあまり音が聞こえません。そーっと顔を寄せ、全神経を耳に集中させて音を聴き取ろうとする姿がとても愛しく、教師も一緒に楽しみました。



雨の日がつづき、退屈していたうたは庭へ出ます。転がっていたバケツをひろうと「ぽいん!」とバケツの底に雨粒が当たって音が鳴りました。隣に空き缶を並べると「ぽいん!カン!」おなべを並べると「ぽいん!カン!チャッ!」楽しい音が鳴り響きます。カエルやカメも仲間入りしてはじまるのは、雨の日の演奏会。声に出して楽しい、雨の日の物語です。

『あめのひの えんそうかい』
かん かおる 作
こどものとも年中向き | 2025 年 6 月号

翌日はしっかりと雨が降り、「今日はしっかり音が聴こえるかも!」と再挑戦。たくさんの皿を並べる子、自分でお椀を手に持ち、少しでも高い位置で雨を受け取ろうとする子、自分で皿を叩いて音を出してみる子、とそれぞれの楽しみ方が見られました。「あ!聴こえた!」と子どもたちのキラキラした笑顔が輝いていました。

今年は例年より早い梅雨明けとなりましたが、これからも雨の日だからこそ味わえること、その季節ならではの出来事を、子どもたちと一緒に楽しんでいきたいと思ひます。



保育のねらいと内容

～7月はこんなふうに過ごしたいな～



3歳児 うさぎ組

- 先生や友達と触れ合いながら、夏の遊びをたっぷりと楽しむ。
 - ・ 様々な感覚を通して身近な自然に触れる。(雨・夏野菜・生き物)
 - ・ 感じたことを自分なりの方法で伸び伸びと表現する。

4歳児 くま組

- 夏の自然に触れながら、友達と一緒に伸び伸びと体を動かして遊ぶ。
 - ・ 水の心地よさを味わいながら全身を使って遊ぶ。
 - ・ 自分の育てたミニトマトに愛着をもち、生長を喜んだり収穫をして食べたりする。
 - ・ 身近な人(友達、先生、地域の人、中学生など)に親しみをもって関わる。



5歳児 きりん組

- 気の合う友達と思いや考えを出し合いながら遊ぶ楽しさを味わう。
 - ・ 素材の特性に関心をもち、友達と一緒に考えたり試したりしながら遊ぶ。
 - ・ 水に親しみ、感触や水の中での動きを楽しみながらダイナミックに遊ぶ。
 - ・ 夏の自然物や自然現象に興味をもち、自分で調べたり生活に取り入れたりする。

